

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和07年10月06日

計画の名称	中心市街地の再生															
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度（5年間）													重点配分対象の該当		
交付対象	茂原市															
計画の目標	土地区画整理事業により幹線道路の整備と併せて街区の再編を行い、もって中心市街地の移動利便性の確保、細街路の解消による安全性を確保し、安全で安心できる中心市街地の再生を目指す。															
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		522	A	522	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）			0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R2当初）	（R4末）	（R6末）
1	国道128号と茂原駅を連絡する幹線道路の渋滞長を5%短縮する。 主要な交差点の渋滞長を調査し、渋滞長の減少割合を算出する。 （渋滞減少率）＝（R2当初渋滞長 - 評価時点の渋滞長） / （R2当初渋滞長）（%）	720m	700m	680m
2	地元商店街の来街者数を5%増加させる。 地元商店街の日当り来街者数を調査する。 （地元商店街の来街者数の増加率）＝（評価時点の日当り来街者数 - R2当初の日当り来街者数） / （R2当初の日当り来街者数）（%）	570人	580人	600人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	茂原市	直接	茂原市	-	-	茂原駅前通り地区土地区 画整理事業	都市再生土地区画整理 10.7 ha	茂原市						522		未策定	
												小計						522		
											合計						522			

事後評価	
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
茂原市都市建設部都市整備課にて事後評価を実施	令和7年度
	公表の方法
	茂原市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	事業進捗の遅れにより目標値には届かなかったものの、当該土地区画整理事業の施行により近隣幹線道路の渋滞長の短縮、利便性の向上による来街者数の増加が図れたものと考える。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	当該土地区画整理事業の施行に伴う老朽化した建物等の解体、新建築物の増加、道路の新設等で景観上の改善が図られている。
特記事項（今後の方針等）	
引き続き社会資本整備総合交付金を活用し、当該事業の進捗を図っていく。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	国道 1 2 8 号線と茂原駅を連結する幹線道路の渋滞長を 5 %短縮する。		
	最 終 目標値	680m	
	最 終 実績値	680m	
2	地元商店街の来場者数を 5 %増加させる。		
	最 終 目標値	600人	事業進捗の遅れにより、都市施設の更新及び土地の活用が進まなかったため。
	最 終 実績値	590人	